



佐々木裕子 議員

Q LED防犯灯、防犯カメラ設置で安全管理を

A 防犯灯はLED化を進め
防犯カメラはガイドラインを策定し運用



新設されたふわふわドームで元気に遊ぶ子どもたち（太陽の村）

町長 今年4月現在、3千404基。幹線道路は、町が設置し、生活道路は、地域づくり補助金を充て、地域と町とが設置費を分担している。防犯灯の電気料や修繕などの維持管理費は、町が全て負担。

問 町内の防犯灯設置状況と、今後の設置計画について問う。

町長 町は、インバウンド政策を進めているが、観光客のみならず、地域住民の安全確保が大変重要である。

問 今後、インバウンド政策を進めているが、観光客のみならず、地域住民の安全確保が大変重要である。今後、地域と協議し、みやぎ環境税を活用するなどLED化に取り組む。新築路線と県道114号角田柴田線の丁字路付近が暗くわかりにくい。安全管理上、歩道側の古い防犯灯は、LEDに切り替え、田んぼ側にLED防犯灯、標識の設置を望む。

町長 歩道側の防犯灯は、県土木事務所と調整する。田んぼ側についても看板を含め、早速要望する。

町長 防犯カメラ設置数と今後の運用は。犯罪抑止などで36台設置。町はガイドラインを策定し運用する。

町長 これまで防犯カメラを活用したことは。警察が活用したことはある。

町長 ふわふわドームを昼夜監視し、安全確保と犯罪防止のため、防犯カメラ設置を要望する。

町長 今後、遊具などを増やす予定があるので併せて検討する。

問 掃除や調理など生活援助のサービスが縮小、町の対応は。（要支援1・2）

福祉課長 29年4月、現在の給付対象から、地域支援事業の日常生活総合支援事業に移行する予定。現在と同じサービス提供を維持する。

問 福祉用具、住宅改修の費用を原則自己負担について町の対応は。（要支援1から要介護2）

町長 社会保障審議会の介護保険部会の結果を

踏まえ、適切に実施していく。

問 65歳から74歳までの自己負担割合を1割から2割に引き上げることにしている町の対応は。

町長 介護保険部会の結果を踏まえ、適切に実施していく。

問 町としてはふくらむ一方の介護給付費を今後どのように抑えていくつもりなのか。

福祉課長 本町の場合は、高齢化率、認定率も全国平均を下回っている。こ

れまで通り介護予防施策を継続することにより抑えていく。

問 給与が高い大企業社員の保険料引き上げをどう思うか。

町長 大企業加入の健保組合、共済組合の保険負担は増えるが、これについては、介護保険部会において十分に検討されると思う。それを基に適切な運営に取り組む。



佐々木 守 議員

Q 国の介護サービス縮小策に対する町の対応は

A 介護保険制度を維持するには、保険給付費対象の見直しは避けて通れない



安心して受けたい介護サービス



安部俊三 議員

Q しばた千桜橋の積極的な活用を

A フットパスのメインコースとし、景観や回遊性の魅力を発信していく



しばた千桜橋を渡るノルディックウォーキングの一行

問 今後、しばた千桜橋の活用をどう考えているのか。

町長 昨年10月に「柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」フットパスによる元気なまちづくり」を策定した。この推進のため、白石川親水公園や桜の小径を完成させる。さらに歴史的資源の再整備などを行い、魅力を高めていく。これらの戦略により、しばた千桜橋をフットパスのメインコースと位置づけ、景観

や回遊性などの魅力を積極的に情報発信していく。**健康・体力づくり推進策や交流人口を増やすため、町内外に呼びかけ、ウォーキングなどの企画はできないか。**

町長 船岡城址公園でのイベントに加え、スタンプラリーやしばた千桜橋のライトアップ、また地方創生事業で計画している「花めぐり・ちよい食ベッサー」などの実施を検討する。さらに、イベントと併せ、仙台大学

や関係団体と連携しつつウォーキング大会など、観光と健康・体力づくりを結びつけた事業で交流人口を増やすよう努める

問 しばた千桜橋を生かす方法として、大河原町との連携を考慮すべきだと考えるか。

町長 現在、桜まつりの共同マップを作成している。しばた千桜橋を活用し、一緒のイベントができないか検討する。

町長 現在、桜まつりの共同マップを作成している。しばた千桜橋を活用し、一緒のイベントができないか検討する。

問 町内の小売・卸売業者数が、15年に238だったのが、24年は167に減った要因は。

町長 大型店、*ロードサイド店の影響などによる経営不振、事業者の高齢化と後継者不足のほか、通信販売の普及や人口減少と捉えている。

問 町内の商店街をどう捉えているか。

町長 日用品や食料品などは購買頻度が高く、地元で購入している。しかし、1カ所の商店街で全ての商品が揃えられない

こと。事業者の高齢化と後継者不足などの理由により、商店街の営業店舗が減り、商店会としての運営が厳しくなっていると捉えている。

問 創業者の輩出が商店街の活性化に必要だが、県内では28年5月現在で19の市町で創業支援事業計画の認定を受けている。本町の取り組みは。

町長 8月31日に認定された。この計画により、創業に関する補助金や融資制度の情報提供のほか、人の掘り起こしから創業

後まで支援を行う。**問** 中長期的な計画で、魅力と活力ある商店街の経済の活性化を目指した協議会の設置を。

町長 協議会を立ち上げることは可能だ。ただし、商店主や商店会自体が、「みんなで汗をかいていこう」という意欲と覚悟がある場合に限り、関係機関と協議し、つくる方向で声かけをしていく。

*ロードサイド店 主要幹線道路沿いで車などのアクセスが主たる集客方法の店

Q 魅力と活力ある商店街の経済活性化を目指した協議会設置を

A 商店主等に意欲がある場合は設置の方向で進めていく



桜場政行 議員



創業を目指した勉強会（柴田町まちづくり塾）

一般質問



有賀光子 議員

Q 我が町の
*ネウボラ対策は

A 設置に向けて準備していく



子どもと保護者が集える船迫こどもセンター

子育て世代包括支援センターを核とした産前産後ケアは重要である。また、児童虐待対策においても、一人一人の状況を把握し、寄り添う日本版ネウボラには、大きな役割が期待されている。

問 本町における子育て世代包括支援センターの設置に向けた対応は。

町長 妊娠期から育児期までの支援は関係機関が連携し、切れ目のない支援を実施することが重

要となっている。

今後、子育て世代包括支援センターについては、他市町の状況を参考にしながら、関係機関で協議し、設置に向けて準備していく。

問 本町でネウボラを実施する際には、「妊娠・出産、子育てトータルケア事業」の専門相談員による「かんがるープラン」

作成は考えているのか。

健康推進課長 本町は、相談体制は整っているが、個別支援のプランは改善して

いく。子育て世代包括支援センター事業についての検討の際に、「かんがるープラン」について作成するので参考にしていきたい。

問 男鹿市では、母子手帳と父子手帳も配布している。本町でも取り入れてはどうか。

健康推進課長 最近発行する自治体課と協議をして実施については検討していく。

ネウボラ 妊娠期から就学前までの育児総合支援方策

問 本町では、これまでにも水害に対し、さまざまな対策を講じてきた。豪雨のたびに浸水・冠水被害に遭う地域があることは治水の難しさだ。洪水をどう分析するか。

町長 原因は、2大河川の水位上昇の早さ、宅地化により保水・有水力低下。平地部排水路の勾配確保の困難。

問 解決策として堤防の嵩上げが有効と思われる。三名生堀改修調査が、今年の予算で計上さ

れているが、その内容は

町長 改修調査は、越水や内水の被害軽減を図るため、堤防の嵩上げや内水排除の常設ポンプ設置の検討など軽減策を見出すために行う。今年度の事業で水位観測のための水位計を三名生排水路に設置したいと考えている。

問 嵩上げで土を盛ると天端が狭くなる。L型擁壁を使用し越水を防ぐことが可能ではないか。

都市建設課長 土地改良区より堤防幅も管理幅も必要だ

と言われた。土砂でもいいが、高くなるほど狭くなり宅地側に勾配による影響が出る。その辺も検討させていただきたい。

問 排水機場で汲む以外に、内水が溜まったから、排水ポンプを稼働させるということか。

都市建設課長 排水堀に余裕がある場合、内水が溜まってきたら、仮設ポンプでの汲み上げは可能と思う。

Q 内水が溜まった際の排水ポンプの稼働は可能か

A 仮設ポンプでの汲み上げは可能



水戸義裕 議員



昨年9月10日に冠水した剣水集会所周辺



我妻弘国 議員

Q 油処理会社の吐気を催す悪臭の改善方策は

A 認可権限は県にあり、臭いについても町長に権限はない



あってはならない環境汚染

問 工業団地内で悪臭がするので確認したが吐き気のある強烈な臭いだった。会社は、昨年油処理事業を開始する前、4区集会所で説明会を開催した。説明で処理後の水は、町側溝に放流予定と保健所に提出している。排水検査は、環境に心配なく、臭気についても500ppm以内で問題なしとのことだった。今回の悪臭について町民環境課に現場確認と改良方策依頼をした。その結果は。

町民環境課長

薬品名は言われていない。酸化を中和す

町長 当該施設は、産業廃棄物の施設であるため、県の指導・監督を受ける。仙南保健福祉事務所と連絡をとり、合同で立ち入り確認を行った。保健福祉事務所は消臭剤の量・散布回数を増やすよう指導を行った。

問 再度確認したが悪臭は続いている。保健所の指導はどのような薬品を使うと臭いがなくなると言っていたのか。

町長 産業廃棄物の設置・認可権限は県にある。臭いについても町長に指導する権限はない。

問 「油処理業者は町に入れたくない」と発言しているが。

町長 以前、議会で「油処理業者は町に

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫 議員

問 特定健診や介護予防をもっと魅力的に。
答 今年度から健診の無料化、65歳以上の個別健診を可能にし、受診率向上の対策を行った。

舟山 彰 議員

問 議員研修で和光市の地域包括ケアについて聞いた。柴田町の実情はいかに。
答 第6期介護保険事業計画で、質の高い地域包括ケアシステムの構築を目指す。
問 仙台大学生への色々な苦情を多く聞くが、町はもっと強く大学に指導を要請すべき。
答 まず、口頭でレベルの高い大学を目指してほしいと要請する。

平間奈緒美 議員

問 地域おこし協力隊のサポートを、本町ではどう捉えているのか。
答 地域住民とのつなぎ役になること、活動状況を把握し、適宜アドバイスを行うことである。

広沢 真 議員

問 就学援助の新入学児童生徒学用品費の給付が7月になっている。入学前にできないか。
答 新学期前に給付できるよう前向きに検討したい。

白内恵美子 議員

問 今後の教育や子育て支援に、子どもの幸福度の視点を持って取り組むことを提案する。
答 子どもの貧困対策整備計画作成基礎調査の中で、総合的な視点から検討していく。
問 県の子どもの貧困対策計画では就学援助対象費目が拡充されている。町も拡充すべきでは。
答 県が12費目、柴田町が8費目であり、他市町の状況や県の計画を考慮し適切に検討する。

秋本 好則 議員

問 柴田町地球温暖化防止実行計画の最終年度だが成果は、また、次の計画は。
答 細部にはまだ努力が必要と思うが、削減目標の6%減は達成した。次の目標は26%減。

佐々木 守 議員

問 保育所・学校給食において、誤配や誤食の対策はどのように行っているのか。
答 入所・入学時に、アレルギーの有無を聞き取り、主治医・校医が指示した食事内容を提供。

桜場 政行 議員

問 交通指導隊の隊員数が、現在26人だ。適正な人員で安心して任務遂行できる環境づくりを。
答 隊員による勧誘、声かけ、募集チラシの全戸回覧、区長宅を訪問など隊員確保に努める。

有賀 光子 議員

問 県の医療費助成制度は6歳未満まで拡充する。柴田町でも子ども医療費助成制度の拡充を。
答 中学生までの通院費及び入院費の所得制限を29年4月から撤廃していく。

水戸 義裕 議員

問 電柱の地中化を、船岡の銀座通りなどの区間で実施できないか。町の考え方は。
答 地中化には障害となる施設が整備され、費用は膨大で全て町負担。電柱の地中化は困難。

我妻 弘国 議員

問 大河原町で子ども医療費が18歳まで延長し、さらに、所得制限を外しているが本町では。
答 子ども医療費助成は通院費及び入院費の所得制限を来年4月に撤廃する。
問 昨年12月会議で質問した大原住宅の問題解決を具体的にどのように進めていくのか。
答 地権者と協議を進めてきたが不動産業者が隣地を買収したので解決方法を働きかけたい。

議会からの指摘事項(所管事務調査報告書)

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務 常任委員会

平成28年7月12日～13日



財政課からの事務調査

調査内容

- 公共施設等総合管理計画策定の進捗状況
- 空き家・空き地対策 ●柴田斎苑建替事業整備計画
- 仙南地域広域行政事務組合滞納整理課について
- 防災対策(柴田町局地冠水対策マニュアル、柴田町地域防災計画)について

調査結果

《**財政課**》公共施設等総合管理計画の策定は、プロジェクトチームを組織するなど、充当可能な財源の試算を行い、基本方針及び計画を全庁体制で行うよう検討すること。

《**町民環境課**》空き家・空き地対策は、所有者に対して適切な維持管理の啓発に努め、空き家バンクの活用も検討すること。

《**総務課**》局地冠水対策マニュアルを5地区で作成したが、他の冠水常襲地区についてもマニュアルを作成する。また、地域防災計画は策定後、さまざまな手段を用いて住民に周知すること。

文教厚生 常任委員会

平成28年6月22日～23日、7月13日

調査内容

- 町内体育施設・第一幼稚園・放課後児童クラブ・むつみ学園の管理運営状況
- 第一幼稚園・放課後児童クラブ・むつみ学園からの課題及び要望
- 第3期柴田町食育推進計画策定の概要

調査結果

《**スポーツ振興課**》①テニスコートは、日曜・祝日に予約なしでも使えるような体制づくりに努めること。

②槻木体育館は、正面入口の雨漏りによる天井の汚れの修繕など利用者が快適に使えるような環境整備に努めること。

③船岡体育館は、競技用備品の安全性に一部不安があるので、早急に点検し改善を図ること。

④組織名称がスポーツ振興課になったが、掲示物などの管理者名が変わっていない。早急に正しい名称に変更すること。

《**教育総務課**》第一幼稚園は、特別な支援を要する園児に対応する正職員の増員を図ること。



館山テニスコート視察

産業建設 常任委員会

平成28年7月14日～15日



葉坂地区冠水調査

調査内容

- 鷺沼排水区雨水整備事業 ●剣水地区・冠水被害箇所
- 水道会計の今後の見通し ●公共施設災害復旧工事箇所

調査結果

《**上下水道課**》①鷺沼排水区雨水整備事業については、5号調整池に役場で確認できる監視カメラと水位センサーの設置を検討すること。

②課全体として、人員の確保及び企業会計に精通した人材の育成を図ること。有収率の向上に努めること。

《**都市建設課**》27年度の剣水地区冠水被害箇所については、対策として、*フラップゲートの改善など、三名生堀から住宅地に水が逆流しないようにすること。

*フラップゲート 河川の逆流防止のため設けられる鋼製のゲート

田町 を込めて」

柴田高校生との団体懇談会

対話の100分間

場所は

仕組み

経験は



リラックスしたなかでの話し合い

7月7日に柴田高校で団体懇談会を開きました。ワールドカフェスタイルでの懇談会で、角田市・村田町からの見学もあり、予想以上のにぎわいでした。
自由な意見交換ができるというメリットを活かし、今回の反省を踏まえて、これからの懇談会の展開を考えていきます。



ワールドカフェとは、席替える井戸端会議といわれるものです。本物のカフェのような、リラックスした雰囲気での話し合いになりました。

**95人でワイワイ、
思いを語りました**

柴田町議会では開かれた議会を目指し、平成19年度から町民との意見交換の場として議会懇談会を実施してきました。

今回、選挙権年齢が18歳になったこともあり、柴田高校生との、ワールドカフェスタイルの懇談会を企画しました。

柴田高校の全面的な協力を得て実現できた懇談会でしたが、宮城県では初めての企画であり、実りのある懇談会になりました。

当日は議会から議員が17人、町の職員など15人、高校生63人の95人が参加しました。

①柴田町の自慢する所・残念な所は

②20年後にどんな大人になつてほしいですか

③そのために必要な場所・仕組み・経験は

途中の休憩を挟んで100分間、②のテーマで席を変え、③のテーマで元に戻る形式でした。

最初は年齢差や経験不足など、不安がありましたが、ファシリテーターのリードもあり、皆さん打ち解けて良い話し合いになりました。

当日のアンケートでは「楽しかった」、「話しやすかった」という意見のほか、機会があればまた

参加したいという意見もありました。



項目ごとのアンケート結果 (アンケート回収率85.7%)

Q 住んでいる地域に関心や興味が高まりましたか

とても高まった	39%	高まった	59%
どちらとも言えない	2%	下がった	0%

Q どんなテーマで話し合いたいですか

教育について	19%	まちづくりについて	31%
環境問題について	13%	進路・将来について	46%

5年後

10年後

15年後

20年後の柴

「気楽に」「思い

対話で進める 共同作業と合意

ワールドカフェスタイルの話し合いを進めるには、ファシリテーターのリードが必要です。今回は青森中央学院大学、早稲田大マニフェスト研究所の佐藤淳先生に依頼しました。

先生と柴田高校を訪ね、教室の選定や時間の割り振りを検討していただきました。

話し合いの前に佐藤先生から説明を受け「否定せず、最後まで耳を澄ませて聞く」、「自分だけが正しいと思わずに、違いを観察する」、「思ったことを自由に書く」などを心がけ、3つのテーマについて話し合いました。14のグループに分かれた話し合いでしたが、各テーブルに置かれた模造紙には参加者の意見や思いが書き込まれ、柴田町への思いの深さが表れていました。



今年の反省を踏まえ 次の課題へ

懇談会後の実行委員会で見直し作業を行い、テーマごとに出された意見を検討しまとめました。共通していたのは、「世代間や地域での交流」、「人と人のコミュニケーション」などが大切に考えていることが伝わってきました。佐藤先生は「対話の場は地方創生の先駆的な取り組みです。高校生の意見を聞くだけでなく、地域課題に対する理解や、当事者意識の高い人材育成にも効果があり、地域づくりの先行投資になる」と話されています。



講師（ファシリテーター）

佐藤 淳 氏

青森中央学院大学
経営法学部准教授
早稲田大学マニフェスト
研究所招聘研究員
久慈市議会アドバイザー
滝沢市議会アドバイザー

参加者の感想

●柴田町のことについて話し合うことができ、前より興味をもつことができようになった。
●人と人との関わりでいろいろな考え方が生まれることができた。

●普通の授業では経験できないことをワークショップで経験した。柴田町のことを深く知ることができた。

●他の人との話し合いを通して将来について考えたり、実現させるためにどうすればいいのかを考えた。

第2回議員研修会

柴田高校での懇談を念頭に予行演習

6月17日に青森中央学院大学の佐藤淳先生を迎え、槻木生涯学習センターで議員研修会を行いました。

第1部 「対話で創る議会からの地方創生」

第2部 ワールドカフェ形式の対話を体験しよう

一般参加者や近隣市町からの参加もあり、59人での研修会になりました。

第1部は、対話という方法についての佐藤先生の講義でした。

それによれば「話し合いには「雑談」から「会話」、「対話」、「議論」、「討論」まであるが、「対話」では目的を共有することや、相互理解と関係性を築くことができ、目的を実現する良い道具にすることができるとのこと。

また、違いに耳を傾け、その違いに気づくことで、目的を実現する方策を考えることもできる。」とのこと。

第2部は、実際にワールドカフェスタイルの話し合いを体験しました。

4〜5人の小グループに分かれ、「住みやすい町」、「暮らしやすい町」とは、「それを実現させる方策は」について話し合いました。

多くの町民が参加でき、話を伺い、その意見を町に反映させることが議会懇談会の開催目的です。

すでに、多くの議会でワールドカフェスタイルの話し合いを、町民・市民との意見交流会に活用しています。

柴田町議会でもファシリテーターの育成や、運営のやり方を学び、話し合いの場での活用を考えていきます。

第2部は、実際にワールドカフェスタイルの話し



？ なった

テーマ：放課後先生

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う議員提案が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、仙台大学と連携した事業「放課後先生」を特集します。

放課後先生誕生までの経緯

背景

平成15年9月

柴田町教育委員会と仙台大学
「連携・協力に関する覚書」締結

平成26年10月

町教育委員会から仙台大学へ教師志望の学生に、年間を通した活動支援を依頼

平成27年9月

日程・支援内容など調整後、開始式が行われる
「放課後先生スタート」

平成27年11月

地方創生先行型上乘せ交付事業
「トップアスリート育成事業」スタート
事業内容

放課後先生配置・体力運動能力テストへの支援
など

=仙台大学との連携=

平成28年5月～

28年度の放課後先生が本格的始動
約60人の学生が各校に学習支援、体育や部活動支援で活躍中

放課後先生とは

教員を目指す学生が、放課後の学習支援のほか、授業中の補助・体育や部活動を中心としたスポーツ支援を行う。

仙台大学との連携

議会は、これまで一般質問や文教厚生常任委員会などをとおして、児童生徒の学力及び体力向上について、提言をしています。

町教育委員会では、学力・体力向上のため、平成15年9月に仙台大学と「連携・協力に関する覚書」を締結しました。平成26年10月には、放課後先生活動に向け、さまざまな調整を行い、27年

9月、放課後先生がスタートしました。

この「放課後先生」の事業目的は、児童生徒の学力や体力・運動スキル向上と仙台大学や学生と町内小中学校の交流を図ることです。学生は、自身の学業に支障がない時間帯などを使い、ボランティア活動をしています。

さらに、11月には、地方創生先行型上乘せ交付事業「トップアスリート育成事業」が始まり、スポーツ活動への支援も増大しています。



放課後先生として活動している仙台大学生

柴田町教育長

船迫 邦則

年間を通し、町内全ての小中学校が、教員を志す仙台大学生の協力をいただき、「放課後先生」として、教育活動支援をしていただいていることに心から感謝しています。

各学校長から、放課後先生の取り組みの効果が表れていること、学生にとっても、資質を磨く機会となっていると聞いています。放課後先生の取り組みを、大学のある町の特徴の一つとしていきたいと思っております。

仙台大学学長

阿部 芳吉

「体」「徳」「知」3拍子揃った子どもを育てるために、教師を目指す学生たちと共に「放課後先生」事業を行っています。

その一環として、夏休み期間に本学LCC棟において、「仙台大塾」を催したところ、小中学生延べ873人が来校し、好評を博したところです。

「追跡」あれはどう

学習支援活動

東船岡小学校

5月12日から放課後先生の取り組みをしています。今年度は13人の学生が、教育活動全般に活動しています。

学生は、児童に寄り添い、担任のサポートに努めながら真剣に授業に取り組んでいる様子が見られました。

学生の活動は、小学校と協力体制を図りながら、児童と良好な関係を築いています。



東船岡小学校

夏休み期間

夏休みの8日間、仙台大学教室を活用し「仙台大塾」を実施しました。

参加児童生徒は延べ人数873人、学習支援学生は延べ134人。

西住小学校

昨年11月から2人の学生が放課後先生として体育や学習支援に活動しています。

9月29日に、えずこキャラバンの主催事業、ダンスプログラム「楠原童也とダンスであそぼ！」において3、4年生と学生2人が一緒に汗を流し、ダンスを体験しました。

昨年からの活動しているためか、休憩時間になると子どもたちが学生に話しかけたりする姿が見られました。



西住小学校

部活動支援活動

槻木中学校

今年度は、16人の学生が登録しています。

学習面では、3年生の希望者を対象に放課後の学習支援を行い、部活動支援では、技術の向上、仲間とのコミュニケーションなど、専門的な指導をしています。

2学期から学習支援にもさらに力を入れていくため、中学校と学生とが調整をして、推進する予定です。



槻木中学校

学生の声

◎子どもが好きで、昨年から参加。子どもの成長を感じられる。

仙台大4年 高橋さん

◎授業だけでは学べないことを体験できる。本気で教員を目指す者にとっては、大変刺激になる。

仙台大4年 大森さん

◎教育実習前に体験できることはプラスになる。

仙台大2年 秋田さん

◎部活動を指導している。生徒の成長過程が分かり、やりがいを感じる。仙台大1年 宮さん

児童生徒の声

◎とても楽しい。西住小4年生

◎分からないところを教えてください。お兄さんのような存在。東船岡小2年生

◎部活動での技術的な指導や相談のつてくれる。槻木中2年生

学校現場から

☆教員を志す学生の参加なので、学校側のメリットは大きい。

☆部活での専門知識をもった学生の指導は生徒の刺激になる。

☆真剣に取り組んでくれる真面目な学生が多く、助かっている。

議から

「放課後先生」事業は、教員を志す学生にとって有意義なものであり、今後ステップアップしていくよう議会でも見守ってまいります。

インタビューにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

あなたの一言



ひらまかなさん
平間加奈さん
(上川名 在住)

●柴田町に住んで感じたことは

角田市から嫁いで、16年になります。町の皆さんがとても温かく、近隣の方々が声を掛け合って地域を良くしようと生活しているのが感じられます。親切な人も多く、助けていただくことが多々あり、とても感謝しています。子育てもじやすく、とても住みやすい町と感じます。

●柴田町の好きなところは

船岡の桜並木は毎年楽しみにしています。この夏、太陽の村に新しい遊具「ふわふわドーム」ができたので機会を見て子どもを連れて行ってみたいと思います。

また、近所の富上農村公園は、危険もなく、子どもたちが遊びに行くのには丁度いい広場で好きな場所です。

●町に何を望みますか

毎週、体操の教室で、榎木生涯学習センターの和室を利用しています。残念なのは、

は、貴が古く、Tシャツなどに「三」がよく刺さります。子育てサークルの皆さんの利用も多いと思いますので、ケガをしないように交換などの対応をお願いします。

町施設の古くなったところにも目を向けていただきたいと思えます。

●議会だよりを読んでいますか

目に留まった時に読んでいます。これからはもっと気にかけて読もうと思えます。

●議会・議員に何を望みますか

より一層、町の皆さんの声を大切に、より良くなることを期待しています。

■議会から一言

町民の声を大切に、町施設のあり方など、町政に役立てていきます。

未来へ向けて

表紙について

9月10日から10月2日まで、船岡城址公園にて第4回しばた曼珠沙華まつりが開催されました。町内外から多くの方が訪れており、その中でも名取から来られた家族の微笑ましい笑顔が、曼珠沙華とマッチし、大変印象深いひとこまでした。



◆編集後記◆

「秋の日はつるべ落とし」と言うことわざのとおり、あっという間に日が暮れるようになりました。

9月会議が終わりました。決算審査特別委員会では、自主財源の比率減や地方創生交付金などが取り上げられ、その審議の内容と結果を掲載しています。一般質問では、14人の議員が活発な議論を展開しました。今後も、町民の皆様にご愛読いただける紙面づくりを心がけてまいります。

議会広報常任委員 桜場 政行

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

12月会議は
12月5日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
12月5日(月)・6日(火)・7日(水)の予定
※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより154号は、約15,900部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。